



男女共同参画推進に関する アンケート結果報告

明治大学男女共同参画推進センター女性研究者研究活動支援事業推進本部

2016年3月

アンケート結果報告

本学教員を対象とした女性研究者研究活動支援事業の認知度および男女共同参画推進に関するアンケート調査を、下記の要領のとおり 2016 年 1 月に実施しました。その結果を報告いたします。

実施要領

目的	本学における女性研究者研究活動支援事業の認知度および男女共同参画推進に必要な活動や支援策について調査し、その結果を基に、事業を一層促進させることを目的とする。
対象	専任教員（教授会員）
方法	教授会にて質問紙を配布し実施。当日回収および後日封書にて回収。
期間	2016 年 1 月 18 日～2016 年 2 月 5 日
回答者数	463 人（989 名中 810 名に配布。回収率 57.16%）

アンケート結果概要

男女比率	男性 79.3%	女 17.5%
小学生以下の子供有	24.4%	
介護を必要とする親族有	28.3%	

本事業の認知度について

平成 26 年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業（一般型）」について、昨年度、本学が採択されたことについては 53.6%が「知っている」と回答。男女共同参画推進のための両立支援などの活動が始まっていることに対しても 47.9%が「知っている」と回答。徐々にではあるが、本事業や、男女共同参画推進のための活動などが認知されつつあることがわかった。一方、推進本部がアカデミーコモン 7 階にあることや、生田分室が中央校舎にあることへの認知度は依然低いため、今後も周知活動に努める必要がある。

サイエンス・サポーター制度について

「利用したい」が 42.1%、「利用したくない」が 12.1%という結果となり、「利用したい」が「利用したくない」を大きく上回った。とくに、小学生以下の子どもがいる女性の回答者については、75.0%が「利用したい」と回答しており、ニーズの高さが伺える。

自由記述回答では「男性研究者でも子育て中の人が多く、利用条件の緩和が望まれる」、「学外でも推薦などで SS の人材を選べるようにしたら研究のクオリティが上がるのではないか」といった意見がみられた。

ランチ交流会について

79.5%が「知らない」と回答。次年度に向けて更なる周知が必要である。

意識改革関連で必要な活動や支援について(女性研究者登用や啓発活動に関して)

「女性研究者の積極的登用」については 51.0%が、「評価委員・意思決定機関への女性の積極的登用」については 54.9%が肯定的な意見で回答。

自由記述回答では「働きやすい環境の整備が必要」「男性に対する啓発活動が必要」「男女関係なく実力がある人が適正に評価される仕組みがあれば良い」「女子学生の増加および女性研究者の育成」などといった意見がみられた。

意識改革関連で必要な活動や支援について(研究とライフイベントとの両立支援、その他に関して)

ライフイベント(育児, 介護など)中の研究業績向上のための支援については 63.5%が肯定的な意見で回答。また、大学運営関係(入試業務, 各種委員など)の業務の軽減については 64.8%が望ましいと選択している。

自由記述回答では「授業時間帯・時間数・委員会や役職の軽減」「託児施設など育児支援」「急に起こりえるライフイベントに対する代理の人員が立てられる体制作り」「女性研究者だけではなく、ワークライフバランスやジェンダー問題に関心のある研究者のネットワークの構築」「留学生のサポート」などといった意見がみられた。

【女性研究者研究活動支援事業の認知度および男女共同参画推進に関する調査】

各設問の選択肢の番号に○をつけ、必要に応じて（ ）内にご記入ください。

【女性研究者研究活動支援事業について】

設問1 採択について

- (1) 文部科学省の本事業について、昨年度、本学が採択されたことをご存知ですか。
1) 知っている 2) 知らない
- (2) 本事業の活動として、本学の男女共同参画を推進するための両立支援等の活動がはじまっていることをご存知ですか。
1) 知っている 2) 知らない

設問2 本事業推進本部の所在について

- (1) 推進本部の所在（駿河台キャンパス アカデミーコモン7階）をご存知ですか。
1) 知っている 2) 知らない
- (2) 生田分室の所在（生田キャンパス 中央校舎2階）をご存知ですか。
1) 知っている 2) 知らない

設問3 ライフイベント型サイエンス・サポーター（SS）制度*について

*SS制度：子育て、介護などのライフイベント中の女性研究者及び男性研究者（条件付）が利用できる研究補助者派遣制度。研究補助者（SS）として派遣されるのは本学の大学院生または学部学生。

- (1) 利用する状況になったらSS制度を利用したいですか。
1) 利用したい
2) 利用したいと思わない（理由： ）
3) どちらでもない
4) その他（ ）
- (2) 研究補助者（SS）について（複数回答可）
1) 他大の大学院生や学部学生もSSにした方がよい
2) 学外の研究者（ポスドクなど）もSSにした方がよい
3) 現状のままでよい
4) その他（ ）

設問4 研究者同士のネットワーク構築のために定期的開催している「ランチ交流会」をご存知ですか（現在、駿河台・生田・中野キャンパスにて実施中）。

- 1) 知っている
2) 知らない
3) 今後、参加してみたい
4) その他（ ）

【本学の男女共同参画推進のために必要な活動や支援について】

設問5 意識改革関連で必要な活動や支援（複数回答可）

- 1) 女性研究者の積極的登用
- 2) 評価委員・意思決定機関への女性の積極的登用
- 3) 啓発活動（具体例： _____)
- 4) 特に必要ない
- 5) その他（ _____)

設問6 研究関連で必要な活動や支援（複数回答可）

- 1) ライフイベント（育児、介護等）中の研究業績向上のための支援
- 2) 研究とライフイベントとの両立支援（具体例： _____)
- 3) 特に必要ない
- 4) その他（ _____)

設問7 その他（複数回答可）

- 1) 大学運営関係（入試業務、各種委員等）の業務の軽減
- 2) 学内研究者ネットワークの確立、情報交換会
- 3) 特に必要ない
- 4) その他（ _____)

【回答者の情報】（可能な範囲でご回答ください）

1 年齢

- 1) 25歳未満 2) 25～29歳 3) 30～34歳 4) 35～39歳 5) 40～44歳
- 6) 45～49歳 7) 50～54歳 8) 55～59歳 9) 60～64歳 10) 65歳以上

2 性別

- 1) 男性 2) 女性 3) その他

3 小学生以下の子どもの有無

- 1) あり 2) なし

4 介護を必要とする親族の有無

- 1) あり 2) なし

以上

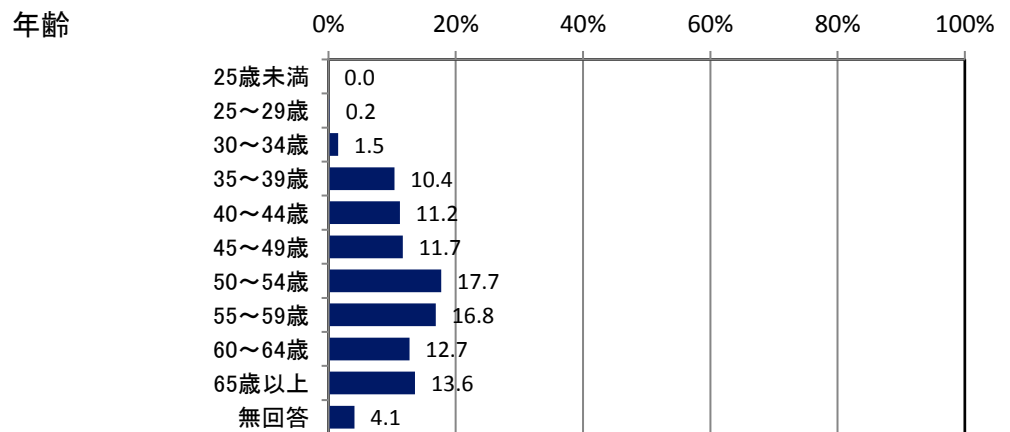
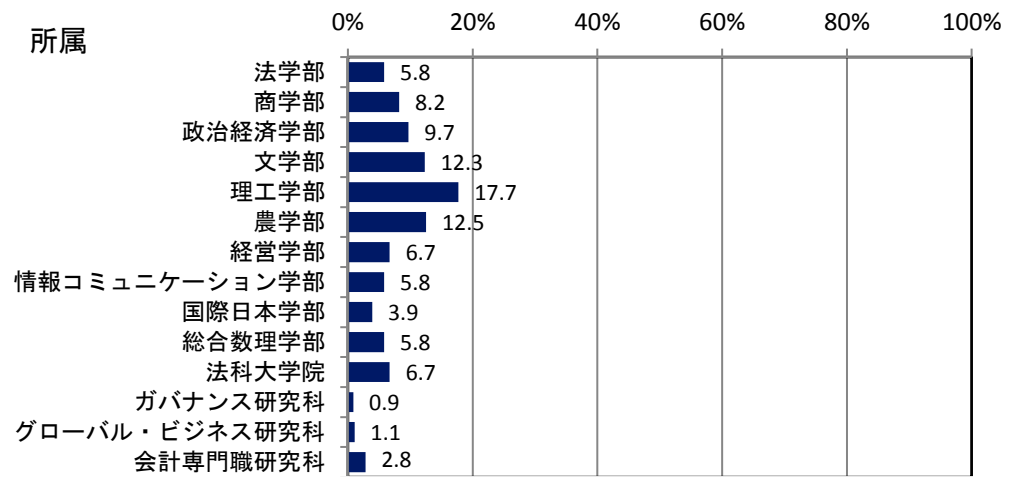
ご協力，誠にありがとうございました。

★同封の専用封筒にて，学内便でお送りください（記名の必要はありません）。

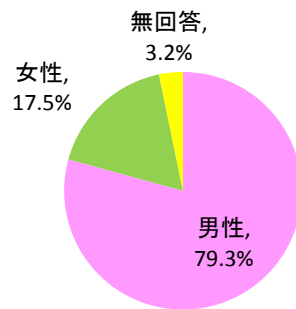
提出先：総務部総務課内 男女共同参画推進センター女性研究者研究活動支援事業推進本部

全学部

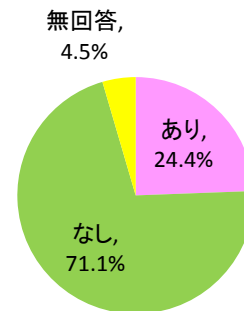
回答者の情報



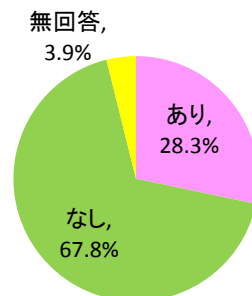
性別



小学生以下の子どもの有無

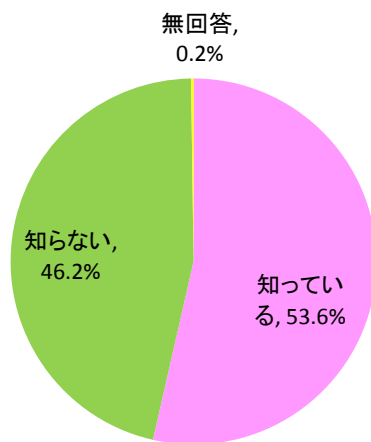


介護を必要とする親族の有無

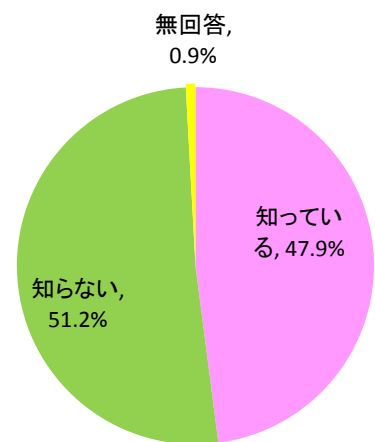


本事業の認知度

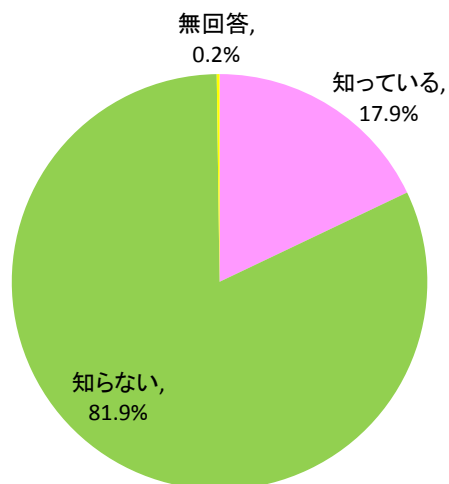
【Q1.1】 文部科学省の本事業について、昨年度、本学が採択されたことをご存知ですか。



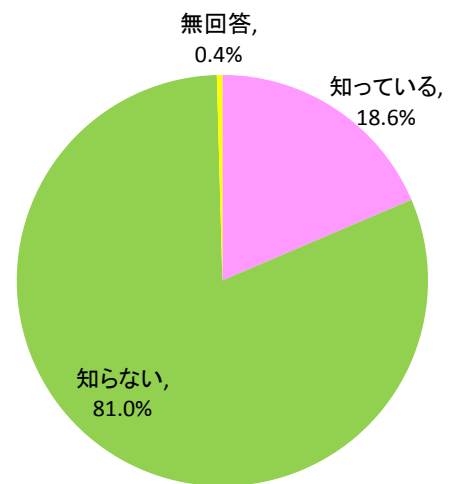
【Q1.2】 本事業の活動として、本学の男女共同参画を推進するための両立支援等の活動がはじまっていることをご存知ですか。



【Q2.1】 推進本部の所在(駿河台キャンパス アカデミーコモン7階)をご存知ですか。



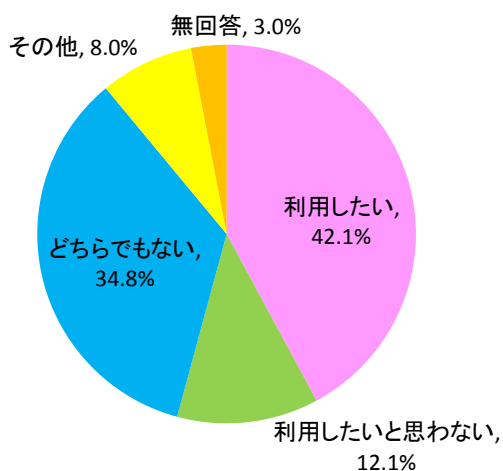
【Q2.2】 生田分室の所在(生田キャンパス 中央校舎2階)をご存知ですか。



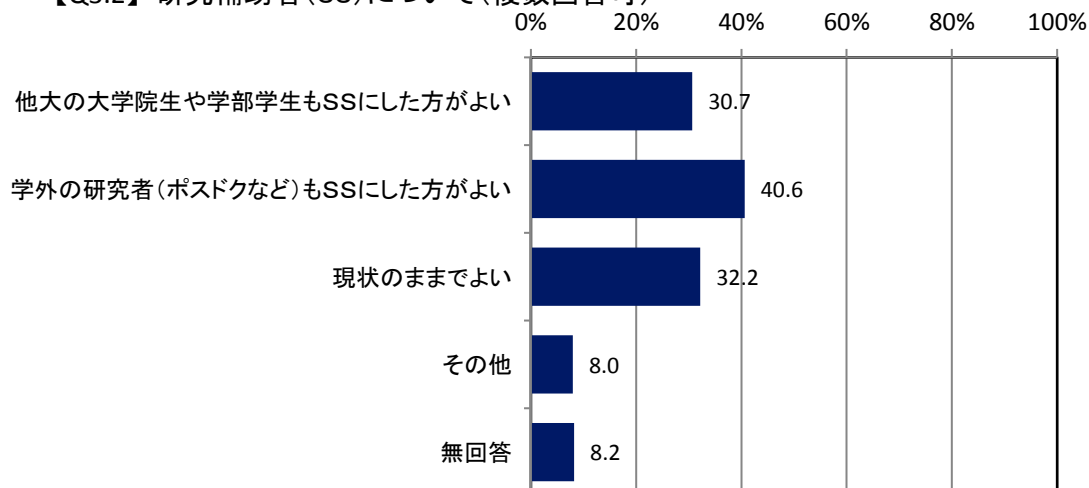
ライフイベント型サイエンス・サポーター(SS)制度について

* SS 制度:子育て、介護などのライフイベント中の女性研究者及び男性研究者(条件付)が利用できる研究補助者派遣制度。

【Q3.1】 利用する状況になったらSS制度を利用したいですか。



【Q3.2】 研究補助者(SS)について(複数回答可)

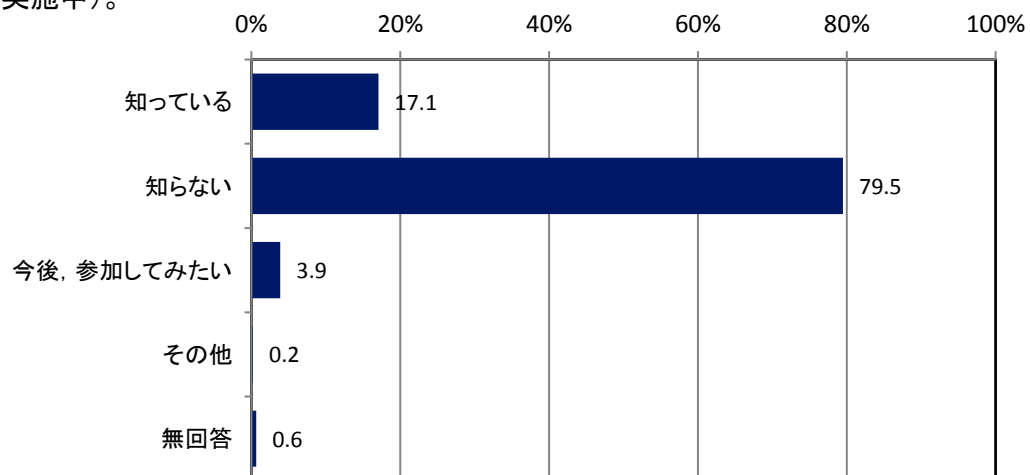


【Q3】 自由回答(一部抜粋)

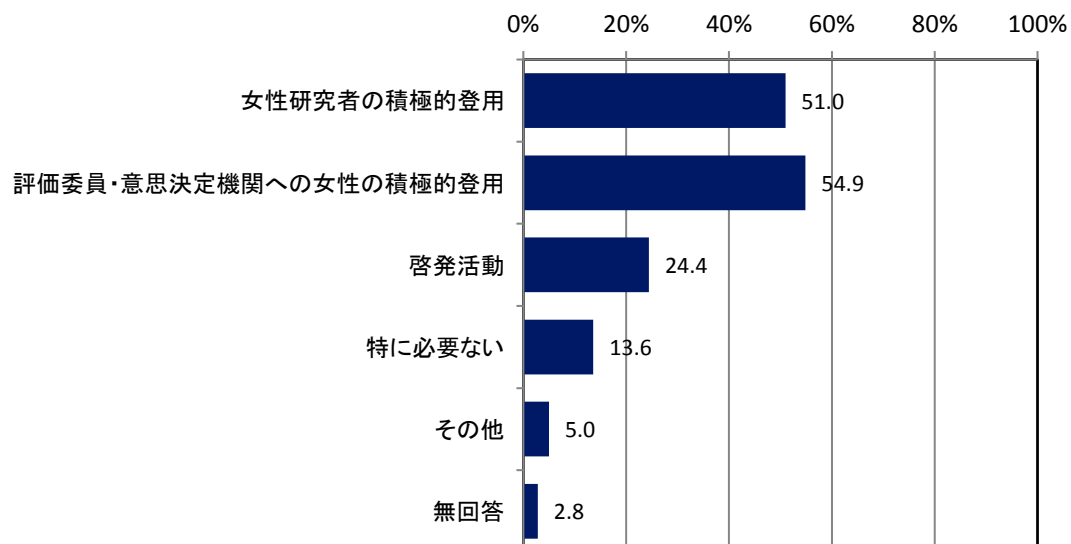
- 自分が行っている研究について、大学院生や学部生が実行するのは難しい。
- 配偶者が研究者ではないので使えない。
- 学外の学生以外の研究補助者。
- 学外でも推薦等でSSの人材を選べるようにしたら、研究のクオリティが上がるのではないか。
- 自分の専門に会う学生を探すのが大変なので、他大の学生か学部学生もSSにした方がよいと思われます。
- 私自身には目下必要ありませんが、多くの若手女性教員が活用されることを期待しております。
- 男性研究者でも子育てを中心に行っている人は多くいるので、子育て中の男性研究者も対象とすべき。
- 男性の条件が緩和されれば利用したい(現状は不可能)。

ランチ交流会

【Q4】研究者同士のネットワーク構築のために定期的を開催している「ランチ交流会」をご存知ですか（現在、駿河台・生田・中野キャンパスにて実施中）。



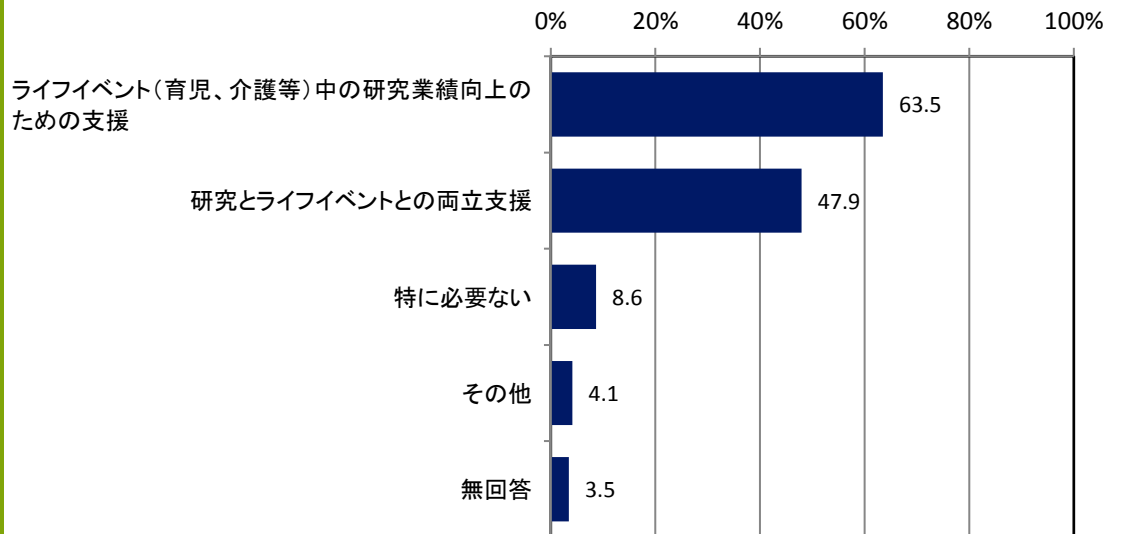
【Q5】意識改革関連で必要な活動や支援(複数回答可)



【Q5】自由回答(一部抜粋)

- ・ 真の意味での男女平等の実現 (支援という発想はおかしい)。
- ・ キャンペーンやセミナー, 講演会等を実施すべきでは。
- ・ 男性に対する啓蒙活動。
- ・ 具体的な活動内容の周知。
制度だけあるのではなく, 現実に使える制度であるために, 使用する人も知らない人も知っていただく必要がある。
- ・ 働きやすい環境の整備。
- ・ 学内における事業の位置づけを工夫し, 各学部に担当者をつくり, その方を通じて, 啓発活動を進める。
- ・ 能力ある人物が女性であるからといって採用されなかった過去の風潮が改められるべきだが, 女性優先ということでの能力ある男性を締め出すのは逆差別となるので避けるべき。
- ・ 女性学生の増加及び女性研究者の育成。
- ・ 男女関係なく, 実力ある人が適正に評価される仕組みがあれば良い。

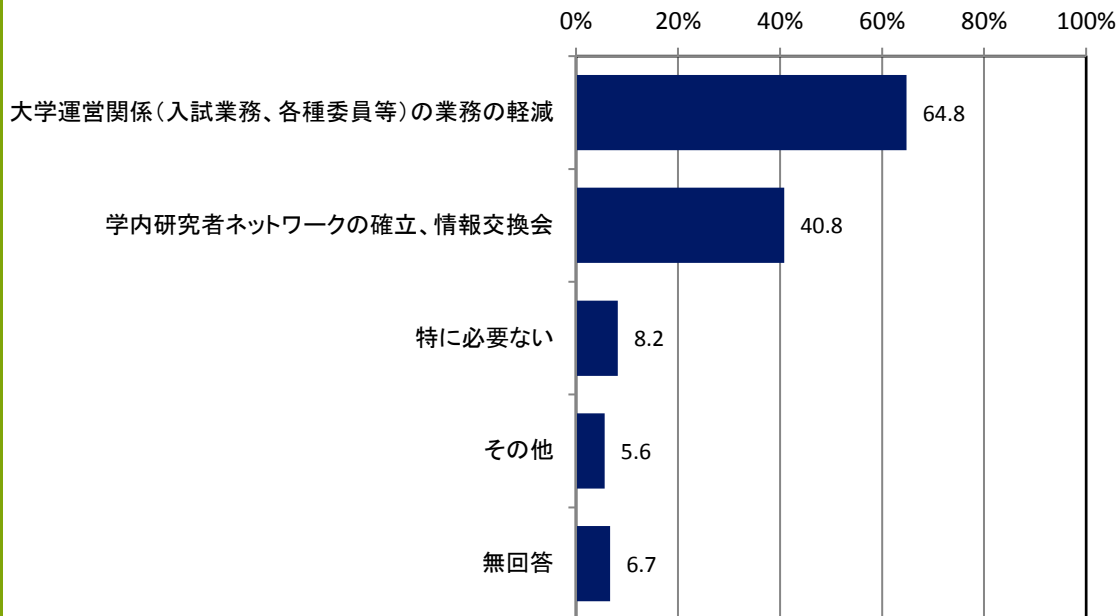
【Q6】 研究関連で必要な活動や支援(複数回答可)



【Q6】 自由回答(一部抜粋)

- ・男性が積極的に育休等を取れるような雰囲気・環境。
- ・SSのような事業の充実。
- ・授業時間帯・時間数の調整，委員会や役職の軽減。
- ・託児施設など育児支援。
- ・相談窓口の拡充。
- ・研究というより教育についてだが，休日授業，入試等の休日出勤時のサポート。
- ・急に起こりうるライフイベントに対し，ごく一時的にでも代理の人が立てられる体制作り。
- ・研究関連もだが，学内委員の軽減も必要。
- ・ベビーシッターの利用をもっと補助する制度を整えてほしい。
- ・留学生のサポート。法律上，行政のサポートが受けられず，SGUとして恥ずかしい。全くグローバル化とは言えない。

【Q7】 その他(複数回答可)



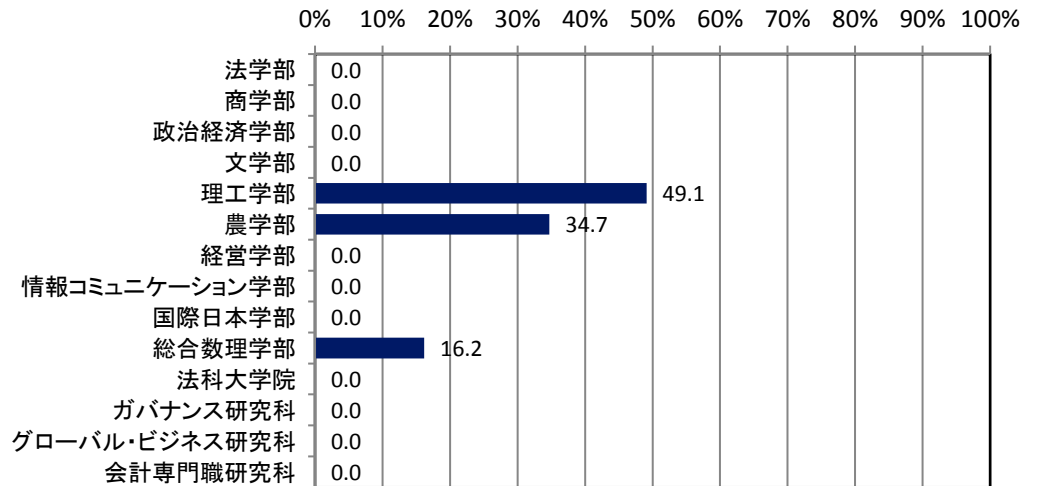
【Q7】 自由回答(一部抜粋)

- ・ 託児所を利用するに当たっての補助・充実。
- ・ 授業時間、会議開催時間の配慮の必要。
- ・ 大学運系関係の業務の軽減→大変な期間は、軽減が必要なのはもちろんだが、メリハリのある優遇と責務、子育て等が終わった場合、より積極的に大学行政の責務を負うべきである。
- ・ 私を含め子育てをしていると、「その日、その時」の対応が難しい。授業や試験監督などは免除か、気楽に代替が立てられるとよい。
- ・ 大学運営関係の業務を軽減した分、他の教員にしわ寄せがいかないような制度にしてほしいです。
- ・ 夕方からの会議を避けてほしい。
- ・ 実態を知ってほしいと思います。実態に関するアンケート調査などをすべきです。
- ・ 産休が終わってすぐ、執行部に入ることになり、仕事育児の両立ですごく苦勞している。文書で明記された業務の軽減を打ち出してほしい(委員会・執行部などに関する)。
- ・ 土日、祝日、夜間(17:00以降)業務の軽減、託児所の設置、小3までの託児所を小6まで延長。
- ・ 女子学生、大学院生を増やす(理系の場合)。
- ・ 女性研究者だけというのではなく、ワークライフバランスやジェンダー問題に関心のある研究者によるネットワークの構築。

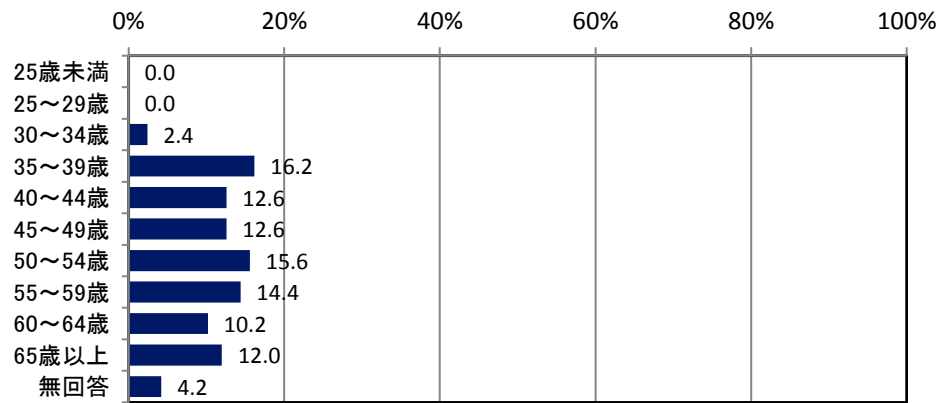
理系三学部

回答者の情報
(回答者 167 人)

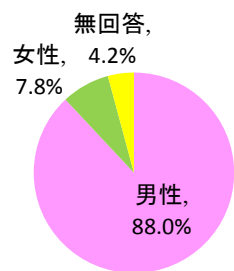
所属



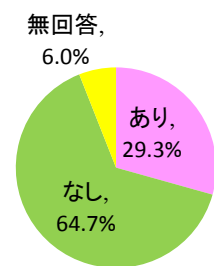
年齢



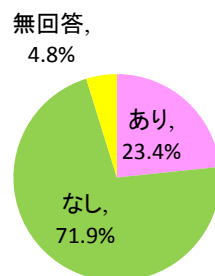
性別



小学生以下の子どもの有無

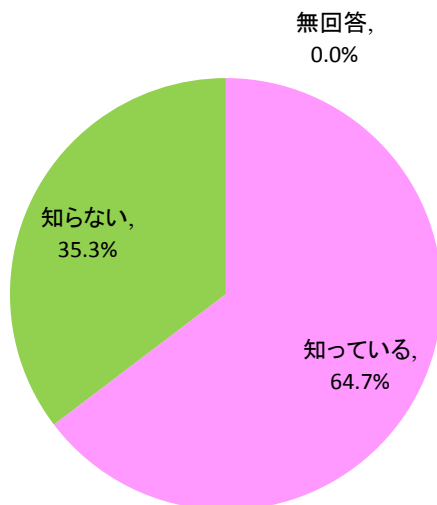


介護を必要とする親族の有無

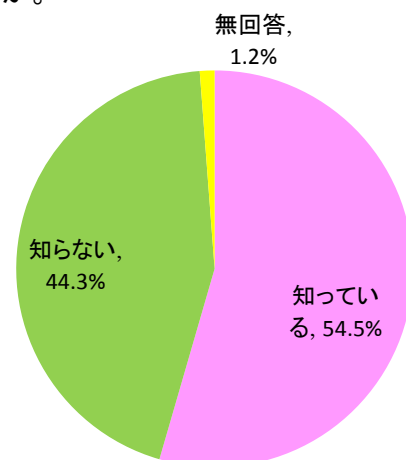


本事業の認知度

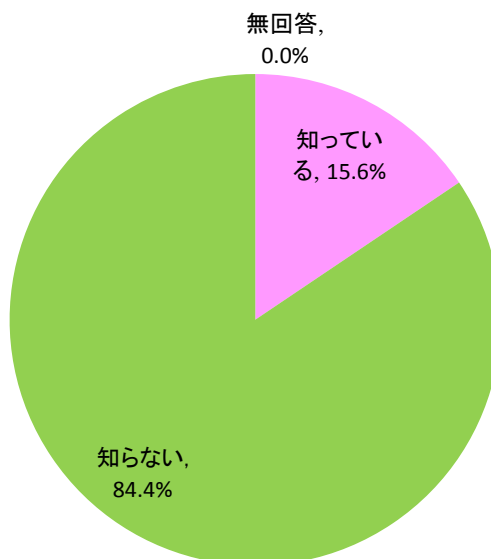
【Q1.1】 文部科学省の本事業について、昨年度、本学が採択されたことをご存知ですか。



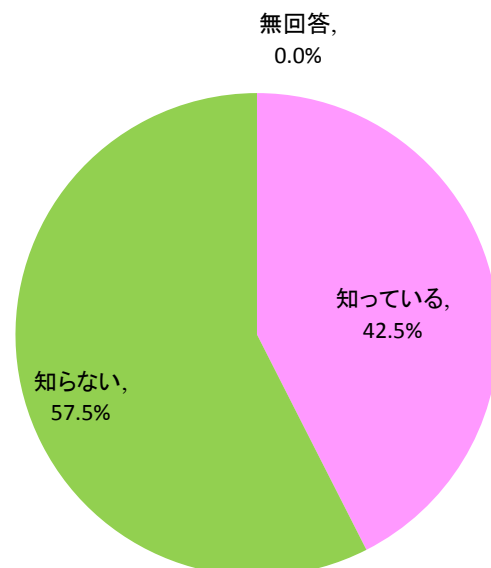
【Q1.2】 本事業の活動として、本学の男女共同参画を推進するための両立支援等の活動がはじまっていることをご存知ですか。



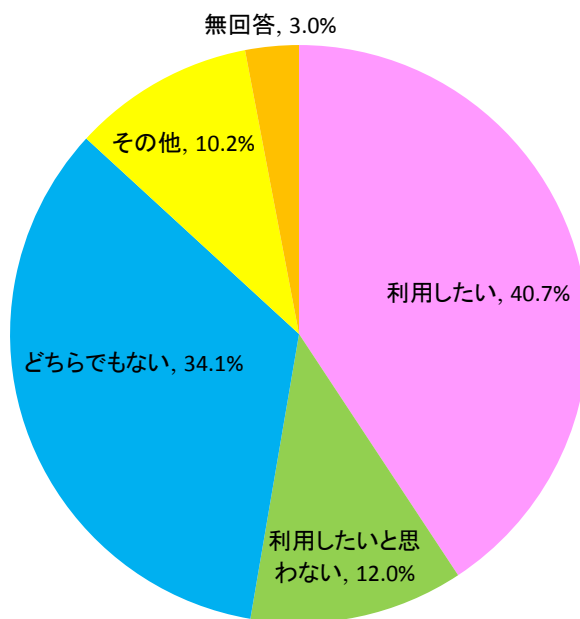
【Q2.1】 推進本部の所在(駿河台キャンパス アカデミーコモン7階)をご存知ですか。



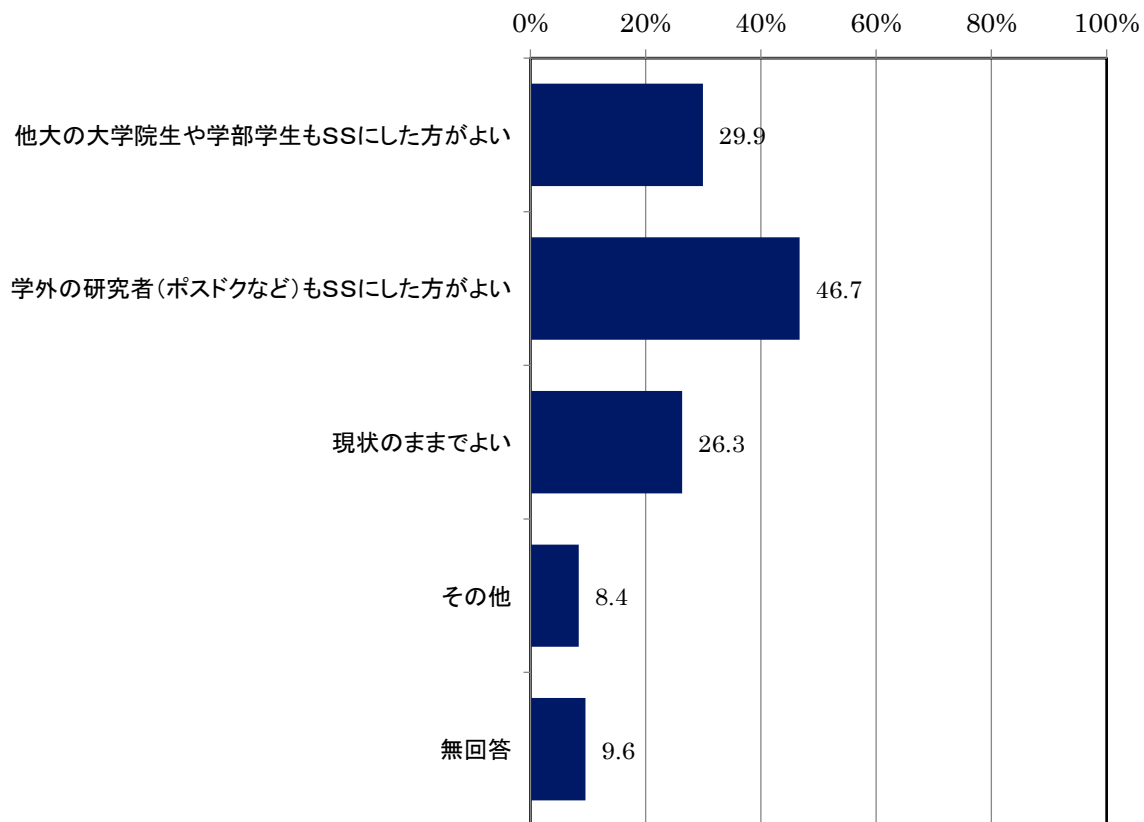
【Q2.2】 生田分室の所在(生田キャンパス 中央校舎2階)をご存知ですか。



【Q3.1】 利用する状況になったらSS制度を利用したいですか。

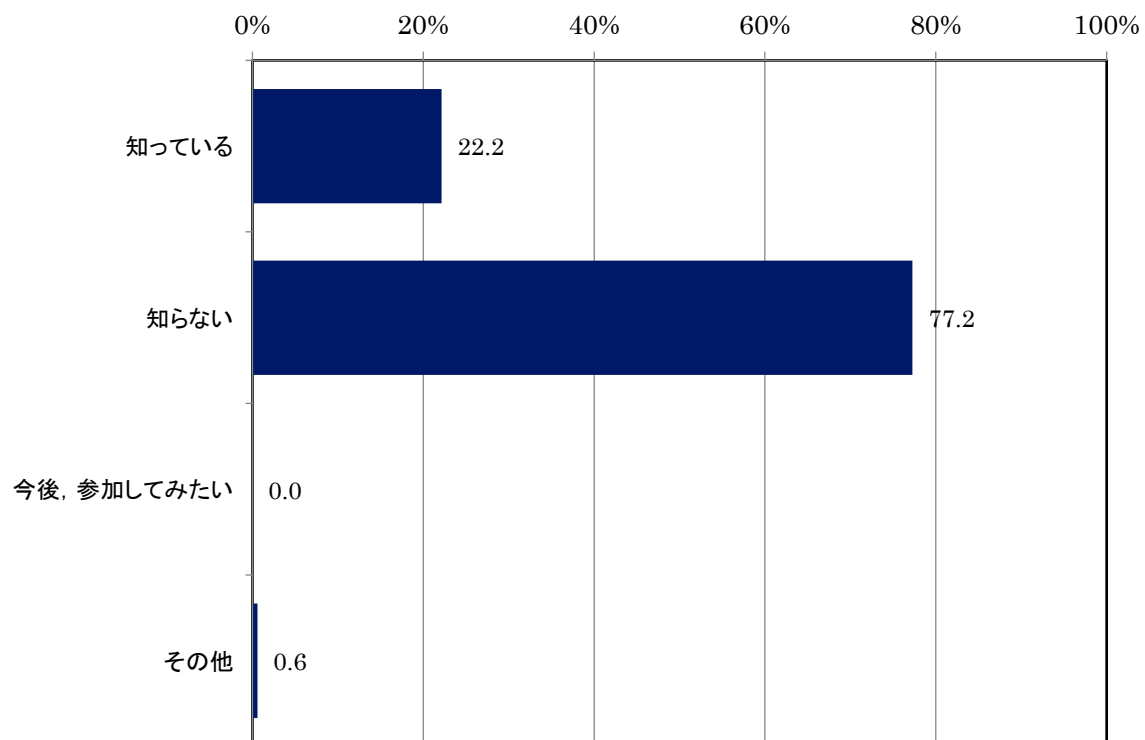


【Q3.2】 研究補助者(SS)について(複数回答可)



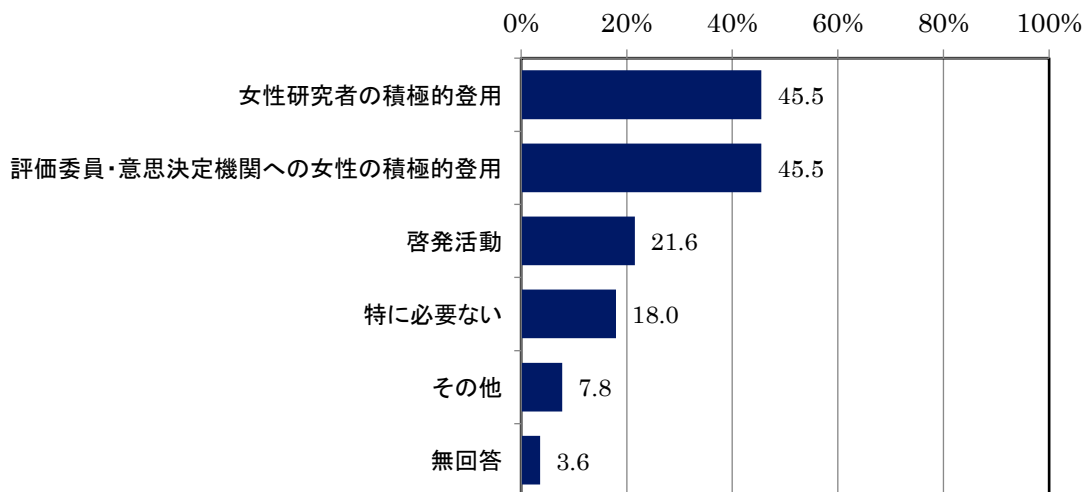
ランチ交流会

【Q4】研究者同士のネットワーク構築のために定期的に行っている「ランチ交流会」をご存知ですか(現在、駿河台・生田・中野キャンパスにて実施中)。

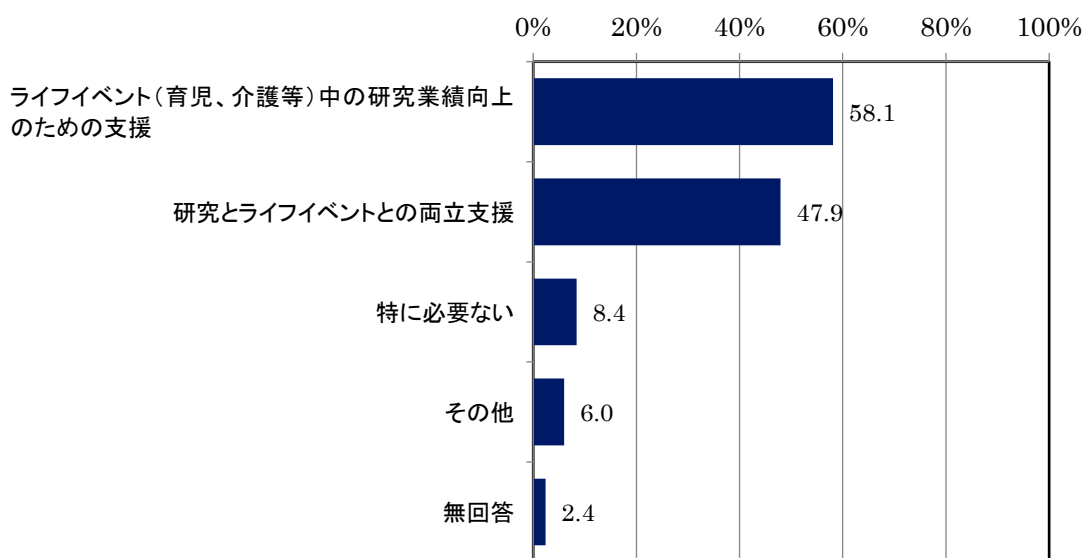


本学の男女共同参画推進のために必要な活動や支援について

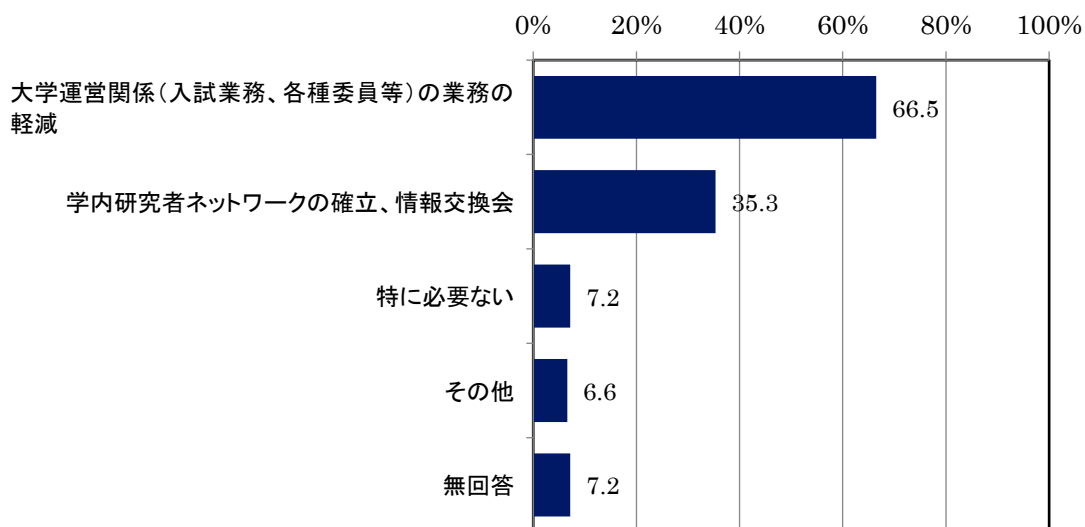
【Q5】意識改革関連で必要な活動や支援(複数回答可)



【Q6】研究関連で必要な活動や支援(複数回答可)



【Q7】その他(複数回答可)



男女共同参画推進に関する

アンケート実施結果

明治大学男女共同参画推進センター

女性研究者研究活動支援事業推進本部

お問い合わせ先

〒101-8301

東京都千代田区神田駿河台 1

– 1 アカデミーコモン 7 階

03-3296-4655

danjo@meiji.ac.jp

<http://muged.meiji.jp>

明治大学は男女共同参画とダイバーシティを推進しています